

愛媛労連

愛媛地方労働組合連合会
 〒790-0003 愛媛県松山市三番町8丁目10-2
 愛媛自治労連会館3F
 Tel 089-945-4526 FAX 089-945-8195
 E-mail: ehimerouren@kind.ocn.ne.jp
 URL http://www.e-soudan.org/



春闘で要求し行動し《大幅賃上げ》を!

全労連・四国総行動3.1

3月1日、全労連四国地区協議会は高松市で「春闘四国総行動」を実施し4県120人が参加。JR高松駅前での「昼休み決起集会」で、香川県労連・十河議長が「物価高騰を上回る賃上げで、労働者・国民の生活改善を」と訴え、全医労四国地方協・近藤議長が「賃金交渉が前進し、2年連続のストライキは回避となった。団結し声を上げ続けることが重要」と報告。集会後の「春闘要求デモ行進」で大幅賃上げ実現などをアピールしました。

集会前後に、JR四国や四国運輸局・経済産業省・地方整備局、人事院四国事務局などへ要請。人事院四国事務局要請には4県11人が参加し、愛媛代表は「国家公務員の通勤手当の満額支給、病気休暇

の有給化・日数など非正規職員の休暇改善」などを要請。人事院事務局から「家庭の事情、業務の都合で特急使用の場合、特急料金が支給されないことは問題という意識はある。交通アクセスがよくない四国の要望として本院には伝えている」と見解がありました。国交省四国運輸局では、トラック労働者の時間外労働の上限規制が4月から適用となる「物流の2024年問題」について、労働時間が短縮されることで収入減少とならないよう基本給を全産業水準並みに引き上げ、若者がトラックに乗りたくなるような魅力ある産業にしていこうことなどを要請しました。



職場の声を集め 賃上げ・要求実現を!

2月~3月県内各地で要求行動

■自治労連県本部は「春闘統一要求書」提出行動を実施し、単組のある自治体・公共事業所に「賃金改善・人員確保・職場環境改善」などを要請。2月20日、伊予市(写真上)では総務部長が対応し「会計年度職員の勤勉手当は正規職員と同じに支給する。会計年度職員ぬきでは行政がまわらないので丁寧に対応したい。災害応急作業等手当はないが、災害が起こり得ることを想定し出すようにしておきたい」など見解がありました。
 ■県医労連・自治労連・愛媛労連は共同で「医療介護統一要求書」で提出行動を実施。2月27日、旭川荘南愛媛病院(写真中)では副院長が対応し「施

設の環境整備は重々承知している。予算の問題があるが、まず雨漏りを直したい。移動式リフトについて現場から要望をだしてほしい」など見解がありました。
 ■愛媛労連・県春闘共闘会議は県内市町・労基署などに「春闘要請書」を提出。2月19日、松山市要請(写真下)では人事課長が対応し、松山労連の矢田議長・加藤事務局長らが「市職員の給与改善、市と契約事業所の労働者の賃金改善などに尽力を」などを要請しました。新居浜労連、西条周桑労連、今治労連も要請行動を実施しました。



ジェンダー平等! 勇気出し声上げよう

3.8 国際女性デー・愛媛行動



3月8日、国際女性デー愛媛実行委員会は50人以上がの参加し松山市駅前 Apel 行動を実施。ミモザの花束やチラシを配布しながら、リレートークで新婦人県本部・野中会長らが「日本のジェンダーギャップ指数は世界146か国中125位。女性の権利を国際基準に引き上げよう」など訴え。女性の政治参加の促進、男女の賃金格差解消、性暴力の根絶なども重要課題と強調。参加者から「ミモザの花束を手渡し、渡す人も貰う人も笑顔になる行動ができて気持ち良かった」「国際女性デーの認知度が上がっていると感じられた」の感想がありました。

伊方原発いらない!

3.11 福島を繰り返さない・愛媛集会



3月11日、伊方原発をとめる会が「福島原発事故13年3.11集会」を松山市駅前で開催し100人が参加。須藤とめる会事務局長が「原発安全神話は福島で瓦解した。愛媛でも頑張っていこう」など開会あいさつ。薦田弁護団長は「能登半島地震は伊方原発に重大な警告を与えた。松山地裁でいい判決を勝ち取り、伊方原発が止まるよう力をあわせよう」など訴え。集会後は「原発はいらない! 命が大事」などコールしながら商店街を行進しました。参加者から「最近愛媛でも地震があり、原発事故が起これば本当に避難できるのか心配。原発はなくしてほしい」と語っていました。

今年こそ大幅賃上げ! 地域要求の実現を

東予ブロック・春闘集会3.10

3月10日、新居浜市での「東予ブロック春闘決起集会」に60人が参加。末田新居浜労連議長が開会あいさつし、今井愛媛労連議長ら連帯あいさつ。喜井宇摩労連事務局長、帆谷新居浜市職労委員長、横井西条周桑労連議長、後藤今治労連議長が決意表明。

各氏の発言では、①すべての労働者が生活改善

できる大幅賃上げ、②学校給食無償化・保育士配置改善など子育て支援拡充、③災害にも備えた住み続けられる地域づくりなどが強調されました。集会後は市内中心部をデモ行進し市民にアピール。近所で遊んでいる小学生、自転車で通行する中高生が関心を寄せて手を振ってくれる姿が印象的でした。



単協労連とJA愛媛女性部が交流会3.23



「働き続けられる農協にしていこう」と話しました。その後、4つのグループに分かれ、柑橘を使ったムースやジャムクッキーづくりを行い、試食しながら活動や悩みを交流。「若い人が女性部に入っていない」など悩みが出され、「お互いの組織やとりくみを知ることができてよかった」など今後につながる交流会となりました。

松山労連・春闘学習会2.10

職場から声を上げ、行動する組合運動を



2月10日、松山労連の「春闘学習会」に10人が参加。『アメリカの労働運動に学ぶ—当事者が勝ち取りに行く春闘を』と題して全労連・布施国際局長がオンラインで講演。「欧米や韓国では労働者が声を上げ大幅賃上げを勝ちとっている」「ニューヨークの配送倉庫で8000人以上のアマゾン労組を結成」「全米自動車労組はストライキで25%賃上げを実現」など高揚するアメリカの労働運動を紹介し、◎個人個人の困難から出発する活動スタイルを、◎請負型から当事者による闘いを、◎現場組合員がその気になる学習を一など提起しました。

働き続けられる農協にしていこう

3月24日、愛媛単協労連はJAえひめ女性組織協議会との交流会を松山市内で開催し22人が参加。全農協労連女性部の宮崎陽子さんが情勢報告。将来不安などで長期休職が増え、農家組合員や地域の利用者のために仕事を頑張りたいと思っても働き続けられない状況について説明し、農家組合員や利用者に喜んでもらえる仕事をしていくためにも「職員が辞めない・病まない農協」にしていこうと、地域農業を守ることも大切な労働組合の活動と位置づけて取り組んでいることを紹介。農協の広域合併・県一化がすすむなかで、職員は大きな不安を持っています。労働組合として、農家組合員や利用者へ「農協があつてよかった」と言ってもらえるよう、必要な要求をしながら「働

総がかり行動・四国集会2.24

軍拡・改憲より「くらし・平和」守ろう



2月24日、松山市での「軍拡・改憲よりくらし・平和を! 総がかり行動四国ブロック集会」に4県80人が参加。愛媛県平和運動センター・越智議長が「日本の軍事大国化に歯止めをかける大きなうねりをつくろう」とあいさつ。井口秀作・愛媛大学法文学部教授が「国民投票というアングルから見た改憲論のいま」と題し記念講演。「改憲のための国民投票が『国民主権の行使』とイメージを変えようとしている。改憲に正面から向かい合い、800億円もかけて国民投票する必要があるのか、丁寧に訴えていこう」と指摘。愛媛労連・今井議長が「憲法を生かし守り、くらし・平和を守る運動と共同しよう」と閉会あいさつしました。

新規採用職員へ組合説明会



コープえひめ労組

▼4月4日、コープえひめ労組は新人職員の労組説明会を開催。毎年人事教育部の協力で新人研修の中に時間を取り「労働組合とは何か?」などを説明しています。例年は組合四役が説明していましたが、新人との年の差もあるため、執行部で一番若い渡邊執行委員が主な説明を担当しました。例年この説明会で多数の加入がありますが、今年は参加者13人全員が加入!これをスタートに新人職員たちをしっかりサポートしていきます。(写真)

▼自治労連単組は、4月4日松山市職労、4月5日伊予市職労など新採職員組合説明会を実施。(写真)

▼全医労松山支部は4月5日に新採職員組合説明会を実施。(写真) ▼建交労県本部は、1月~3月に年内13会場で健康相談会を開催し、相談者47人のうち23人が組合加入。相談者・加入者とも前年に比べ増加しています。

職場で声かけ、新しい仲間を迎えよう



松山市職労



伊予市職労

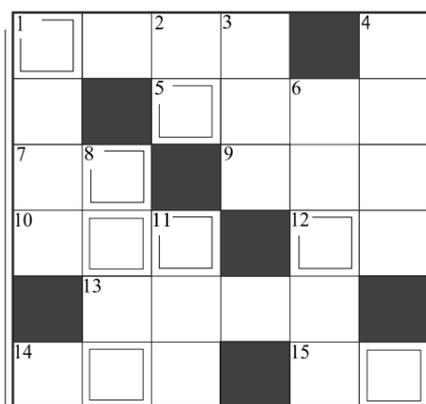


全医労松山支部



クロスワード パズル

(おたのしみ プレゼントつき)



カギを解き、2重枠に入る文字を並べ替えてできる言葉は何でしょう。

【タテのカギ】 ①月下氷人 ②その時の市価 ③夜半。——の3時 ④強がりな人なので——を人に見せない ⑥外部から体に受けた傷 ⑧実情、実質。——がつかめない ⑩マルバツ

【ヨコのカギ】 ①——の功 ⑤漢字を使わずに書いたもの ⑦男所帯に〇〇がわく ⑨絵 ⑩人間——で一日健診 ⑫〇〇胡椒で味つけ ⑬国外——を命じられる ⑭LL——のズボン ⑮〇〇ふたつの姉妹

【送り先】愛媛労連「クイズ係」宛て FAX 089-945-8195 Eメール ehimerouren@kind.ocn.ne.jp

【×切】5月末日消印有効

【第328号正解】

チキウフットウカ

【当選者(敬称略)】田村愛子(全労働愛媛支部)/平井浩二(全労働愛媛支部)/森田佐喜江(年金者組合松山支部)

お便り

読者からの



▼最近賃金が上がったけれど物価はそれ以上の上昇率で、生活に余裕がないと感じます(田村愛子・全労働愛媛支部)

▼先日初めて春闘に参加させていただきました。労働組合執行部の方たちが、私たち労働者の代表としてこんなにも奮闘してくださっているのだと知り、現場の切実な声を届けるために、各分野より多くの職員の参加が必要だと感じました。そしてこの組合会合により職場で起きている問題を共有化し、さらなる職場環境の改善につながるよう私達も努めたいと思います。(片桐里美・コープえひめ労組)

労働相談

【相談】重い荷物を持つ仕事で腰を痛めて休職し、少し落ち着いたので会社に行くと、完治したという診断書が必要だと言われた。完治していないので提出しないまま休んでいる。しばらくすると会社から、社会保険料を立て替えているので支払ってほしいと言われた。賃金も支払われていないので払えないので、少しでも支払ってほしい。(男性・30代・正社員)

【アドバイス】けんぽ協会に、傷病手当の請求用紙を受け取り、会社と医師に記載を依頼し、協会に提出して下さい。もし、会社に記入してもらえない場合は、協会から会社に指導があるので未記入のまま提出するようにして下さい。



0120-378-060

月~金曜日(祝日除く)14:00-18:00

労働相談センターは、労働者の「かけこみ寺」として相談者に問題解決のアドバイスをしています。

【応募要項と景品】ハガキに答えと住所・氏名、組合名、愛媛労連に対する意見、職場のことなど一言を書いてください。ファクス・メールでも可。正解者の中から抽選で3人の方に図書カードを進呈します。一言は趣旨を変えずに記載させていただくことがあります。